

第16回

茶業の発展のために

三重県は全国3位の茶の産地です。茶の中心産地は、北勢地域と中南勢地域にあり、北勢地域では、四日市市、鈴鹿市、亀山市の3市を中心に、鈴鹿山麓の平坦地に茶園が広がっています。また、本市は、茶の樹に一定期間覆いをかぶせて作る「かぶせ茶」の日本有数の産地でもあります。茶業振興センターは、そのように活発な本市の茶業のさらなる発展を図る目的で、平成4年に設置されました。

本市の主な施策や旬の話題を取り上げるコーナーです。今回は、移転整備が完了した四日市市茶業振興センターについて紹介します。

移転整備が完了

新名神高速道路の建設に伴い移転整備を進めてきた「新」茶業振興センターがこのたび完成し、3月31日に開館式が執り行われました。



新施設では研修室、製茶工場といったこれまでの機能に加え、調理体験室、展示ホール、茶園などを新たに整備し、茶農家のみならず広く市民の皆さんに活用していただけます。

また、「みえ森と緑の県民税」を活用して、研修室の腰壁など施設内の随所に三重県産木材を使用しています。

PRの拠点として

三重、京都、滋賀など6府県の茶の出来栄を評価する「関西茶品評会」が今年は本市で開催されます。本市から出品される茶は茶業振興センターの工場で製茶され、上位入賞が期待されます。このような機会も捉えながら、茶の魅力を発信する拠点として活用していきます。

問い合わせ先

農水振興課

☎354-8180 FAX354-8307



市内各地で開催されたイベントなどを写真と文章で紹介するコーナーです。



お茶摘みボランティア

(4月25日～5月10日 水沢地区・小山田地区)

四日市の地場産品「かぶせ茶」について知ってもらうため、ボランティアによるお茶摘み体験が行われました。参加者は、「お茶摘みをしたことがなかったので一回やってみようと思った」「やってみたら見た目よりも大変だった」など、初めてのお茶摘みを思い思いに楽しんでいました。



ヒツジの毛刈り (5月9日 南部丘陵公園)

南部丘陵公園の小動物園で、ヒツジのフワ(オス、6歳)の毛刈りが行われました。顔付近にバリカンが近づいたときなど、暴れることもありましたが、基本的におとなしく小動物園のスタッフに身を任せていました。見学していた人々からは、「ツルツルになった」「ヤギみたい」などの声が上がっていました。

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



建労 四日市支部

随時加入者 募集中

三建国保

組合独自の建設労働者の健康保険

出産育児一時金(42万円)
葬祭費(本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助(3万3千円)
脳ドックに対する補助(2万円)など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。